

2019年 第1回日本救急医学会男女共同参画推進特別委員会議事録

日時：2019年2月22日（金）

場所：日本救急医学会事務所

出席：畝本 恭子、田中 裕、岡田 昌彦、木田 佳子、木村 昭夫、
七戸 康夫、並木 淳、並木 みずほ、本多 ゆみえ

WEB出席：小澤 昌子、木田 真紀

欠席：角 由佳、長谷 敦子、番匠谷 友紀、矢口 有乃、阿南 英明

赤星 昂己（オブザーバー／厚生労働省医師の働き方改革に関する検討会構成員）

1. 前回議事録確認

2. 第47回日本救急医学会総会・学術集会について

①委員会企画（3月29日〆切）

・演題募集は3月19日頃から開始予定

・働き方改革特別委員会関連：委員会報告＋ワークショップ

→今回は働き方改革特別委員会とは別に当委員会の特色を出して別企画を！

【企画案】

・学生や研修医の若い世代を取り込むための企画

・原点に戻り、医師全体中女性が増えてきている、**女性救急医を増やすこと**に焦点を当てる

・指導的立場に立つために指導医を取得、女性救急医にも積極的に指導医を目指して欲しい。

い。現在705名指導医のうち女性は20名

・女性救急医を増やすためには？会場からいろんな意見を出してもらい discussion する。

・ワークショップ形式

・発表者は公募（キャリアアップ、自分なりに楽しく継続している、プロフェッショナルリズム、子育て）。今回の**ワークショップ形式**。それぞれの立場で救急医として継続するためには、専門医取得後も継続するためにはということで、後輩へのメッセージ含め話してもらう。

・公募後、ワークショップの趣旨にあった演題を選び発表してもらう。ある程度委員会サイドでストーリーを組み立てて演題を選ぶ。適した演題がない場合は、一部指定演題とする。

・題名「**私なりの happy な救急医の続け方**」

・呼び込み文の中に、指導医クラスは若い世代へのエールもと記載

・場所は、何箇所か候補あり。①200名程度の第7会場②展示場の中のオープンスペー

→②になる可能性

- ・時間は2日目の15時半から17時頃予定
- ・司会：岡田先生，木田(佳)先生 にお願ひする。(今委員会でご了承)

②ラウンジ関連

- ・託児所：G501，15人/日定員，値段も格安にしたい
- ・授乳スペース：フォーラム内にあり
- ・展示スペースの一角にセミオープンスペースを作りそこで行う。
- ・展示スペース内のため飲み物とかを別途用意する必要はないか？
- ・お菓子についてはアンケートを書いていただいた人に渡すなどするか？
- ・2日目に角先生：簡単なレクチャーしてもらい，その他毎日誰かにレクチャーしてもらい(昨年の伊藤先生にもう一度話してもらいのもいいのではないか)
- ・専門医の説明の時間を設けてもいいのではないか？相談室設置，若手限定，専門医取得前の医師限定：七戸先生，畝本先生
- ・スライド募集を早く行い，学会開催までに2回程度学会のメーリングリストを使い，学会会員全員に募集メールを送る。同時に当委員会のメーリングリストへの登録を宣伝する。
- ・スライドについては可能であれば#子育て#キャリアアップなど簡単に分類する。
- ・今回の学会では朝専門医セミナーはしない，ランチョンの時間に2コマ設置予定。

③今後の活動について

- ・第2回アンケート実施(今年の総会のためではなく)
- ・女性救急医も5年前と比して増加しており，再度アンケートを取り前回と比べて改善されてきている点，まだまだ課題が多い点などを抽出する。
- ・前回アンケートに答えてくれた方に向けて，変わったところ，自分が変わったこと，立場で変わった，社会が変わった，救急医の環境が変わった，などこの5年での変化をアンケートする。
- ・多くの議員が任期で変わるのでその前に一回何か形になるものをしたほうがいい。